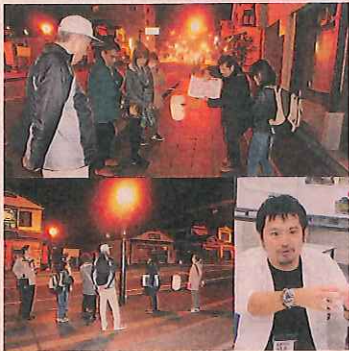




東北芸術工科大学 校友会の運営をおこなう理事3名をご紹介します。
今後も卒業生たち「校友会」会員の輪を一層深めるべく、活動を進めてまいります。



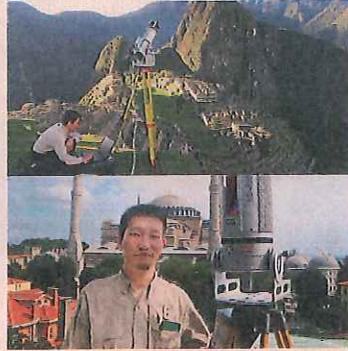
岡井 健

環境デザイン学科(現:建築・環境デザイン学科)在学中から都市やまちづくりに関わる仕事をしたいと思っていました。卒業し、仙台のまちづくりコンサルタントに就職しましたが、その後一度地元の日光に戻り、建築・補償設計の会社で働く傍ら、まちづくりNPOに参加し、今ではその代表を務めています。東北に縁があったため、東日本大震災以降の現在は再び仙台に。仙台沿岸部の震災復興のまちづくりの現場に居ります。そのようなわけで、現在は日光と仙台での二拠点居住生活を送りながら、日光では、街並み景観づくりやまち歩きなど様々な事業を、仙台では復興まちづくりの現場をコーディネートしています。

主に住民と行政の橋渡し的な立ち位置と言えます。どちらも、まちづくりの仕事は「調整役」である場面が多く、主役は誰であるか留意しながら進めています。

卒業以降、今の生活があるのは「あの大学生活」があったからとたびたび思います。私にとっての「初心」が大学時代なのかもしれません。ぼんやりと思い出す瞬間を大切にしながら日々前進していきたいと思っています。

岡井 健 Ken Okai
NPO法人日光前まちづくり・理事長 / 特定非営利活動法人都市デザインワークス・スタッフ
1978年 日光生まれ
2001年 東北芸術工科大学デザイン工学部環境デザイン学科(現:建築・環境デザイン学科)卒業
2001年~2003年(株)都市創造研究所研究員
2004年~2010年(株)荒井技研
2006年~2009年 NPO法人日光前まちづくり理事
2009年~ 同法人 理事長
2012年~ 特定非営利活動法人都市デザインワークス・スタッフ



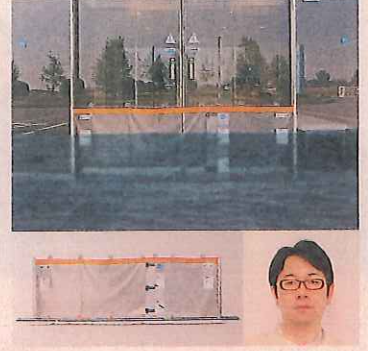
岡本 篤志

校友会理事をしています、芸術学科三期生の岡本篤志です。私は、学生時代から文化財の三次元レーザ計測と積層造形法(三次元プリンター)の研究をしています。最近、三次元プリンターや三次元計測を見聞するかもしれませんが、実は、1997年に芸工大で、最先端技術を用いた文化財記録研究がおこなわれていました。学部を越えて、デザイン工学部の先生方も様々な技術を教えてもらったおかげで、現在も分野にとらわれずに新しい技術を学んでいます。

エジプト・トルコ・パルスの世界遺産や国内外博物館の収蔵品三次元記録もしており、マチュピチュの三次元計測は、数年前開催された、「インカ帝国展」3Dシアターの元データとして利用、山形県立博物館にある縄文ビナスの3Dプリンクモデルレプリカの前データを提供し、皆さんに文化財を身近に見てもらうことをおこなっています。

最近では、航空機からのレーザ計測や建造物のCAD記録(BIM)の研究をおこなっています。多くの卒業生が、多方面で活躍しています。校友会を通じて新しい技術・研究・デザインを芸工大に還元できればと思います。

岡本 篤志 Atsushi Okamoto
芸術学部芸術学科文化財保存修復コース(現:美術史・文化財保存修復学科)、同大学院三期生
東北芸術工科大学副手、同文化財保存修復研究センター、筑波大学大学院研究員を経て現在、大手前大学史学研究所研究員。
1997年からレーザ三次元計測技術をもちいた文化財形状記録と3Dプリンクによるレプリカの制作について研究をおこなう。仏像、美術工芸品、古墳、考古遺物など多数の文化財の記録をおこなう。近年では、海外における世界遺産のレーザ三次元計測や、航空レーザ計測に従事。



長峰 大輔

校友会理事の長峰大輔と申します。

1998年度に生産デザイン学科(現:プロダクトデザイン学科)を卒業後、大手建材メーカーの文化シヤッター株式会社に入社し、長年、シヤッターやドア、電装部品等の商品、デザイン開発を担当しています。

直近の話題として本年度は、担当製品である「簡易型止水シート 止めビク」でグッドデザイン賞を受賞致しました。会社では中堅になり、社外の人脈を意識する立場になってきました。母校の卒業生同士という「同じ釜の飯を食べた仲間」とビジネスの世界でwinwinの関係が築けたら幸いです。カワイイ文章になってしまいましたが、お互い声を掛け合って、持ちつ持たれつ、ユルユル楽しく充実した人生を謳歌しましょう! 「みんな、元気かい?」

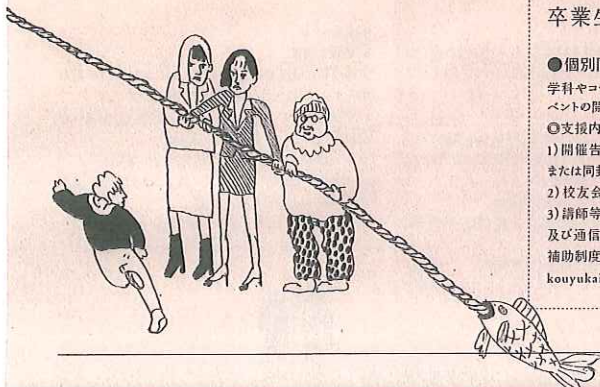
PS.同じく理事をされている岡井氏は栃木県立鹿沼高校の後輩でもあります。
栃木人、連絡くださいな!

長峰 大輔 Daisuke Nagamine
栃木県出身 栃木県立鹿沼高校卒業
1999年3月 生産デザイン学科(現:プロダクトデザイン学科)卒業
1999年4月 文化シヤッター株式会社入社後、開発部門において、シヤッターやドア、各種建材製品の商品デザイン、技術開発を担当する。後にマーケティング部門へ異動し、商品デザインの他、プロモーションを担当。現在は開発部門に戻り、商品デザインを担当している。特許、意匠登録案件多数有(権利は会社)。
自身のデザインは、モノづくりより、コトづくりを強く意識します。ビジネスマンとして利益貢献は勿論ですが、社会貢献に繋がる製品作りを意識し、日々研鑽しています。ようやく全体が見渡せるようになってきました。

卒業生向け支援制度のお知らせ

- 個別同窓会制度
学科やコース毎の同窓会並びにこれに準ずるイベントの開催を支援する制度。
- 支援内容・支援金額
1) 開催告知等の支援 (HP掲載、広報誌掲載または同封、メルマガによる周知)。
2) 校友会通信やメルマガによる賛同告知提供。
3) 講師等の旅費宿泊費、募集に関する印刷費及び通信費について上限12万円を支援。
補助制度の詳細URL: <http://www.tuad.ac.jp/kouyukai/dousokai/>
- 今までの実績
情報デザイン学科ゲームデザインコース同窓会(2011)、環境デザイン学科/建築・環境デザイン学科大同窓会2013(2013)、美術科工芸・テキスタイル同窓会(2013)
- 活動支援金制度
個人や団体により文化活動を広く社会に向けておこなう場合、活動の成果を広く一般に公開するための、広報に特化した助成をします。
○支援金額

原則として1期あたり30万円を上限として予算の範囲内で適用。最高限度額10万円。
補助制度の詳細URL: <http://www.tuad.ac.jp/kouyukai/shienkin/>
○今までの実績
「よみがえりのレンジ」への支援(2010)、「山形県産和紙を学ぶ勉強会と魅せる展覧会」(2012)、「サクラマサ2013~東北芸術工科大学を築いたクリエイター達の凱旋企画展~」(2012)、その他 2011年度15件、2012年度8件、2013年度1件





んだ!! 盛り上がったぞ(∩∩)芸工祭



2014年9月21日・22日、東北芸術工科大学で第23回芸工祭が開催されました。テーマは“Discover! ～ココロのこころ探検～”。爽やかな秋晴れの中、約4,000人のお客様が会場に足をお運びいただき、にぎやかな芸工祭となりました。校友会では例年卒業生による校友会ブース「サクラダネバーランド」を設けています。2014年は学生会館二階ラウンジにて華やかに開催。合計6組8ブースの出展者を先頭に、現役の学生、久々に訪れた卒業生や近隣住民、芸工大進学希望の高校生達と一緒に学園祭で盛り上がりました。

出展形態は、主に山形で活動する作家のアイテムを取り扱うショップ、陶芸作品、アクセサリー・雑貨、和紙、進学相談コーナー、絵画展示、本の販売など。また本年は卒業一期生による珈琲豆の提供もあり、来場者が本物のコーヒーを無料で楽しめるなど、内容もとても充実している卒業生らしい「特別ブース」となりました。毎年増える出展者の中で、売上を着実にあげているグループもあり、製作の発表の場としてもとても素晴らしい会場となりました。また、久々に芸工祭に訪れる卒業生も多く、校友会ブースにて懐かしい仲間とふれあい楽しいひと時を過ごし、中には「来年は自分も芸工祭で出展したい!」と語る人もいました。

校友会ではこのような卒業生同士や卒業生と現役生がふれあう場を今後も増やしていきたいです。(記 福高隆之)

6月28日に校友大会をおこないました。

卒業生全体の学年を超えた同窓会でもありません「校友大会」。ここ数年は、大学のある山形から離れた東京にて開催しております。芸工大を卒業して、なかなか山形に来ることが出来ない卒業生におきましては、東京にて山形で学んだ同窓と会うことができる、情報交換ができる貴重な機会となっております。

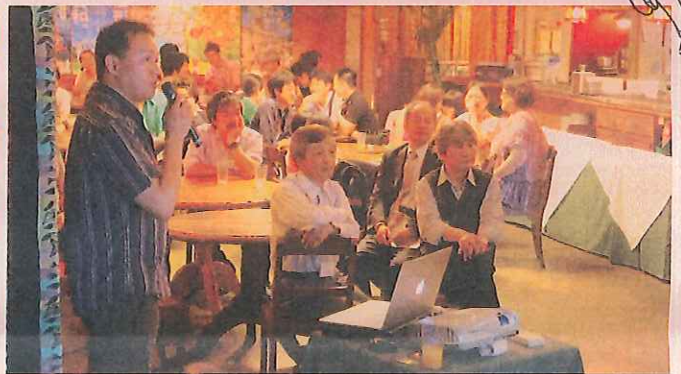
2014年は、6月28日に昨年と同様、東京代官山にあります「モンスーンカフェ代官山」におきまして校友大会を開催しました。大学側の坂元理事による大学の近況報告はもちろんのこと、今回は芸工大で学んだ卒業生の方々が「今、どのような仕事をして活躍しているのか」を多

くの卒業生に知ってもらい、お互いに刺激となるような企画として、卒業生4名(情報デザイン学科1期生の阿部さん、歴史遺産学科11期生の庄司さん、生産デザイン学科(現:プロダクトデザイン学科)1期生の小泉さん、美術科洋画コース6期生の高松さん)によるプレゼンテーションがおこなわれ、卒業生ならではの貴重なお話を伺うことができました。ご参加された卒業生のみなさんにとって、勉強になったことや刺激になったこと、今後の仕事や活動に対するの勇気をもったことかと思えます。また、環境デザイン学科(現:建築・環境デザイン学科)2期生の片平さんからはサプライズ

演出としてマジックを披露していただき、参加された皆さんにとって楽しいひとときを過ごせたことでしょう。

毎年恒例の山形うまいもん抽選会(山形のなつかしい食材などの抽選会)も盛大におこなうことができました。

今回、参加出来なかった卒業生のみなさま。校友会では、毎年6月第4土曜日に校友大会を開催しております。来年は是非参加していただきまして、懐かしい友と会話を弾ませていただければと思います。来年も卒業生のみなさまの元気な姿が拝見できること楽しみにしております。(記 伊藤綾)



個別同窓会制度のご案内

2006年6月1日より、東北芸術工科大学校友会「イベント企画支援制度」の募集がスタートしました。この制度は、校友会会員が自主的に企画開催するイベント等について、校友会の公認イベントとして認め、開催を支援する制度です。この制度は、同窓会またはこれに準じたイベントを誘発し支援することを目標としていましたが、さらにわかりやすく、使いやすしい制度に改正しました。本制度は、学科やコース毎の同窓会並びにこれに準ずるイベントの開催を支援します。

1. 概要
校友会理事、幹事、会員有志並びに各学科等が連携して、学科(コース)同窓会並びにこれに準ずるイベントの開催を支援します。
2. 申請資格
校友会理事、幹事、及び会員有志並びに各学科等による学科(コース)同窓会実行委員会
3. 対象となる企画
1) 校友会の趣旨に相応しい各学科(コース)毎に開催される同窓会並びにこれに準じたイベント等
2) イベント等については、校友会会員、母校の在学生または一般等向けに開放されたもの
3) 活動支援金制度との併用はできない

4. 採択条件
所定の期間内に企画書を提出し、校友会による承認を必要とする同窓会並びにこれに準ずるイベントとしてふさわしいこと
5. 採択者の義務
採択された個人・団体は、卒業生・在校生の模範となるよう努めるとともに、活動の成果を積極的に公表してください。また、以下の点を義務付けます。
1) 受給手続きに必要な書類の提出
2) 校友会誌、HPへの活動・成果発表(記事の執筆掲載をおこなうこと)
3) 校友会から求められた場合の成果発表
4) 後援を東北芸術工科大学校友会として告知資料等に

6. 支援の概要
支援内容は企画書の申請内容を基に校友会理事会が決定する。概ね次のような支援内容とする。
1) 開催告知等の支援(ホームページ掲載、広報誌への掲載または同封、メルマガによる周知)
2) 校友会通信やメルマガによる貸問告知提供
3) 講師等の旅費宿泊費、募集に関する印刷費及び通信費、について上限12万円を支援
詳しい条件などは、校友会HPをご覧ください。
<http://www.tuad.ac.jp/kouyukai/dousokai/>

